

令和6年度事業計画

日本サニテーションコンソーシアム（JSC）は、アジア太平洋水フォーラム（APWF）のサニテーションに関するナレッジハブ活動を通じて、アジア・太平洋地域の衛生状況の改善に貢献するため、令和6年度（2024年度）において、以下のような事業を実施する計画である。

この数年懸念された新型コロナウイルス感染症拡大（COVID-19）の影響は、ほぼ解消された。今年度の活動は、影響前の水準まで回復するものと想定される。

1. ネットワーキング

（国際機関と連携し、各国の衛生関係機関とのネットワークを構築する）

ナレッジハブの活用を促進するために、アジア・太平洋地域のサニテーションに関係する機関、団体等を見出し、ネットワークの拡大を図るため、各種会議、ワークショップ等に参加する。この一環として国土交通省の受託案件「下水道分野における国際会議運營業務」（エム・アール・アイリサーチアソシエイツ㈱とのJV受注）の中で以下のような調査及び行事等の企画・支援を予定している。

- ① 国内外で実施する国際会議、政府間会議の開催・運営支援等（アジア地域を中心に4～5か国・都での多国間会議、政府間会議、技術セミナー等）
- ② 下水道事業の理解促進等の対応方策についての検討

2. 情報収集

（アジア・太平洋地域の衛生に関する情報データベースを構築し、各国の衛生改善に関する調査を実施する）

2-1 APWF（Asia-Pacific Water Forum Governing Council Meeting）

執行審議会への参加

第32回アジア太平洋水フォーラムの執行審議会（7月頃開催を想定）に参加し、インドネシア・バリ（2024年5月18日～24日）で開催される第10回世界水フォーラムの振り返り・反省点に関して関係者が集合すると想定される会合において、今後のアジア太平洋地域における衛生・汚水管理の動向を把握する。

また、APWF 副議長に推薦された東洋大学北脇秀敏教授の就任及び初会合への出席について支援する。

3. 知識の普及と情報共有

(衛生に関する日本等の先進国の知識と経験の普及、途上国の情報と知識の共有のための国際セミナーを開催する)

3-1 アジア汚水管理パートナーシップ (Asia Wastewater Management Partnership (AWaP)の支援

AWaP 運営委員会は 8~9 月頃に開催される予定であり、事務局を担当する日本下水道事業団 (JS) の要請により、JSC は AWaP パートナー機関として運営委員会及び技術セミナーの進行等に関する支援を行う。

3-2 スtockホルム世界水週間への参加

ストックホルム世界水週間 (8 月 25 日~29 日) において、APWF における議論を踏まえ、アジアフォーカスセッションに参加する。既に、セッションの提案として「平和的かつ安全な生活のための十分に活用されていない水資源と持続可能な未来」と題した提案を行っている。このほか、衛生・汚水管理に関する各国関係者と情報交換を行い、最新情報を収集する。

3-3 第 10 回世界水フォーラムの参加とセッションの主催

インドネシア・バリ (2024 年 5 月 18 日~24 日) で開催される第 10 回世界水フォーラムにおいて、国土交通省、環境省の方針を踏まえテーマ別セッションを主催する。このほか、時間の許す範囲で各セッション、イベント等に参加し、衛生・汚水汚泥管理に関する世界的な動向の把握に努める。

3-4 第 12 回アジアにおける分散型污水处理に関するワークショップ

前年度に引続き、アジアにおける分散型污水处理システムの普及推進に向けて各国間の情報共有並びにネットワーク構築を図るため、2024 年に環境省が主催する「第 12 回アジアにおける分散型污水处理に関するワークショップ」の開催を支援する。

今年度は、スリランカにおいて 5 か国から参加を想定して開催する予定である。

4. 国際援助機関への支援

ADB・JICA 等国際援助機関に対し、衛生関係技術者の養成を実施するとともに、プロジェクトの調査や適正技術の選定に対する助言や専門家の紹介などを行う。

4-1 ビル&メリンダ・ゲイツ財団（BMGF）／アジア開発銀行研究所（ADB）との連携強化

昨年度 ADBI の依頼により、インド国テランガナ州の州都ハイデラバード市の下水道が整備されていない市外縁部の商業ビル等を対象として、日本の分散型污水管理制度を参考にした分散型污水管理の改善と再生水利用の促進に関して調査を行った。

この調査の報告に基づく対応として、ADBI を通じて JSC に対して関連する支援や助言を求められる可能性が高い。また、インド国から JICA に対して人材育成等の支援要請があった場合を想定し、具体的な支援について準備、対応を行う予定である。

5. その他の活動 Other activities

5-1 ISO/TC224/WG8、WG10 及び CG 活動への参加

ISO TC224/WG8 の新しい規格「飲料水及び下水サービスに関する活動― 基礎的分散型生活排水マネージメントに関するガイドライン」ISO 22521 規格の改訂に取り組んできた。今年度の会合は令和 7（2025）1 月にケニア・ナイロビにて開催される予定であり、出席を予定している。

昨年度より TC224/WG10「トイレ流せるモノ」に関する会合には、日本下水道協会・下水道グローバルセンター（GCUS）と JSC が参加しており、今年度の WG10 の会合は日本での開催希望を受けて調整を行っており、引続き対応を行う。

ISO/PC305（持続可能な下水道を使わないシステム）の会合が、令和 6（2024）5 月にフランス規格協会で開催される。この会合は、昨年度 ISO/TC224 CG（Committee Group 座長会合）において要請されたもので、JSC から担当者を派遣する予定である。

5-2 JICA 課題別研修（下水道マネージメント／分散型污水处理システム導入・普及）の支援

Support to JICA Training Program (Sewerage Management/ Introduction and Spread of Decentralized Wastewater Treatment Systems)

JICA 課題別研修（下水道マネージメント）は、JICA 東京において令和 6 年 9 月 24 日～10 月 31 日來日研修として開催される。JSC から講義への講師派遣、教材の充実に向けた支援などを行う予定である。

また、昨年度に続き JICA 課題別研修（分散型污水处理システム導入・普及）が JICA 九州にて令和 6 年 6 月 20 日～7 月 12 日まで開催され、この研修に対して JSC から講師派遣等の支援を行う予定である。